

日本メノナイトプレザレン教団  
2016年度  
「役員・リーダー等成長研修会」報告書

共に集まろう。共に祈り合おう。共に学び合おう。

(神の共同体・神の家族)

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、

なんというしあわせ、なんという楽しさであろう」 詩編133:1



日 時	2016年6月25日(土) 10:30am~3:30pm 2016年6月26日(日) 2:00pm~5:00pm(東海地区)
会 場	武庫川キリスト教会 大阪北部地区 堺中央キリスト教会 大阪南部地区 広島北キリスト教会 中国地区 豊田東キリスト教会 東海地区

主 催 日本メノナイトプレザレン教団 常任責任委員会  
ミッションサポートチーム(MST)事務局

# 「ゲストからホストへ」

星田チャペル 田中芳文

## はじめに

1. 「皆がお客さん」「サービスを受けるのは当然」「クレーマー」「皆がコメンテーター」
2. CS (Customer satisfaction 顧客満足) という考え方
3. 「お客さん」からの脱却
4. 「仕えられる者」から「仕える者」へ

## 聖書

1. マタイ 20:26-28 (ルカ 22:26-27、マルコ 10:43-45)
 

「26 あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。27 あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたのしもべになりなさい。28 人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」

  - (1) 「偉くなりたい者」「人の先に立ちたい者」
  - (2) 「仕える者」「しもべ」
  - (3) イエス様がモデル
  
2. マタイ 25:44-45
 

44 そのとき、彼らも答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹であり、渇き、旅をし、裸であり、病気をし、牢におられるのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』45 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、おまえたちに告げます。おまえたちが、この最も小さい者たちのひとりにしなかったのは、わたしにしなかったのです。』

  - (1) 誰に対して仕えるのか？
  - (2) 「もっとも小さな者」に仕えること
  - (3) 主に仕えるということ

## まとめ

(パウロの言葉) 使徒の働き 20:35

「このように労苦して弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」

## 分科会〔主要テーマ〕

大阪北部地区  
大阪南部地区  
中国地区

### (1)「献金てなんだろう」

- ・信仰生活に於ける献金の意味と、信徒としての自覚と恵みを考える

### (2)「会計担当者の集い」

- ・会計担当者の会計実務の現状を分かち合い、今後の対応について話し合う

### (3)「教会での結婚への取り組み」

- ・次世代のクリスチャンホーム誕生の為、皆で取り組むべきことは何かを考える

### (4)「教会運営を支える信徒になる」

- ・教会運営を支え、健全な信仰生活の為に、各人が持つべき姿勢を話し合う

### (5)「家庭での夫婦の役割」

- ・円満なクリスチャンホームの為に、夫婦としてそれぞれに心掛けることを考える

## 東海地区テーマ

「役員員の資質・霊性・役割とは」

## 2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

- 開催場所：武庫川
- グループ：献金って何だろう？
- 分科会進行役：本村兄(武庫川)
- 記録係：三好兄(武庫川)
- 参加者：本村兄(武庫川), 宇田靖兄(石橋), 西村姉(武庫川), 浜島兄(武庫川), 三好兄(武庫川), 山下兄(武庫川)

### (1) メンバー紹介

- \* 宇田靖兄(石橋)
- \* 山下兄(武庫川)
- \* 西村姉(武庫川) フルタイムで武庫川教会でご奉仕。
- \* 浜島兄(武庫川) 武庫川教会で映像のご奉仕。
- \* 三好兄(武庫川) 障害を持っていますが、仕事を頑張っている。
- \* 本村兄(武庫川)

### (2) 主要テーマの選択 … ① 献金とは何だろう？

- \* 会堂献金と教会。
- \* 会計しかできないが、献金袋の中に目的を書いた1枚の紙を入れる。以前は、他教団において聖書のみことばによって献げていた。給料の変動で10分の1はきつかったが、献げるようにしていた。
- \* 献金(Ⅱコリント)で困っているときはあったが、10分の1は努めて献げてきた。また、月初に献げるようにしていた。現在は、自覚と祝福で献げていることが主流だと思う。
- \* 月初めに献げるよう心がけている。
- \* いろいろな教団によって献げ方が違う。

### (3) 今後取り組もうとしていること

- \* 献金とは、祈って祝福してくださる神様に献げるものだと思う。
- \* 献金とは、喜んで献げるものだと思う。
- \* 献金とは、神様への献身の1つである。
- \* 災いの事態が起こったとき、神様が守ってくださったことを感謝して献げるものだと思う。
- \* 本日、参加されていない教会もあり、献金などいろいろな問題もあり、参加しにくいこともあるので、その教会のために祈っていかないといけない。

### (4) 教団への要望

- \* 困っている教会への援助と計画的なサポートが必要だと思う。(キャラバン伝道)

2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

■開催場所 武庫川教会 2階 母子室 【2016年6月25日】

■グループ班分け 会計担当者の集い

■分科会進行役: 井上兄

■記録係: 栗栖兄

■参加メンバー: 以下のとおり

1)メンバー自己紹介(2分以内)

- 井上正弘兄(司会) 尼崎教会:現会計担当
- 谷口信祐兄 OBC:世話人:会計担当
- 谷畑宏幸兄 恵みの丘教会:現会計担当
- 浅原一彦兄 石橋教会:現会計担当
- 寺谷耕二兄 グレースセントラルチャペル:現会計担当
- 吉岡純子姉 武庫川教会:現会計担当
- 栗栖 崇(記) MST/平野教会:現会計担当

2)主要テーマの選択②「会計担当者の集い」

会計担当者の会計実務の現状を分かち合い

教会献金には一般(礼拝・月定・感謝・特別)献金と会堂指定献金があり、会堂を改修した事もあり、会堂指定献金に重点をおいている。(教団への十分の一献金減少)

月定献金の他、約束(指定)献金を用いて、宣教師など他の奉仕者がささげられている事に感謝

教会内におけるお金の流れが解る事で、教会の中身がわかった

収支決算で赤字年度は積立金を取り崩して過ごしたが、将来の事を考慮するとできる事なら積立金を取り崩さずにすむ決算が望ましい

会計担当の奉仕に携わってから、何度となく神様の恵みを覚える機会が与えられて感謝でした

予算作成時の焦点は、昨年度の予算実行率も考慮している

献金額を考察して見ると、教会員の年齢構成を考慮して、60歳代がピークであった

教会予算作成にあたり、牧師給と伝道費を削るのは、最後にしている

赤字予算を提示した時に役員のみなさんから怒られた「しかし赤字予算を提示する事も大切」逆に赤字予算を素直に提示したら、よき理解者が現れ、黒字決算になった事もあった

会計担当者は、献金額から信徒さんの私的(生活)情報まで把握する事がある

伝道費とは何であり、何にお金が使われてよいのか？

伝道費	伝道会費用、クリスマス・イースター費用、教会案内作成費など
教育費	教育講演会、教育図書、よきおとずれ紙代など
CS費	教会学校補助、教材費用、キャンプ補助 他
広報費	削除?...伝道費に含む?

教団キャンプの参加費用について、教会から一部支援している(できるだけ削らない様に心がけている)

CS教師がキャンプ補助の為に献金の募集(案内)をしている

リスクについて

お金の出し入れについて、アナログがベストではないでしょうか？

盗難を考慮するべきであり、教会には現金を置かない方が良い

(以前、石橋教会で金庫が盗難に合いましたが、現金類は一切無く被害額は0円でした。金庫物損のみ)

礼拝献金など現金を扱う場合、担当者は一人で行うのではなく、複数人でチェックし合う方が良い

現金は聖日中に勘定を終わらせ、帳簿に記入後、しかるべき場所に保管すること

小さな教会では会計奉仕を手伝ってくれる信徒を探すのも苦勞である

育成について

会計奉仕者を育て・継承していく事が大切である事は解っているが、成り手が少ない

会計担当者は、献金額から信徒さんの私的(生活)情報まで知ってしまうので、怖いからできれば避ける

個人的な伝承では、本来間違っているやり方も気付かないうちに伝承されてしまう

仮払いについて

教会活動である事が明確に解る領収書が必要である(個人の為の領収書にならない様に特に注意)

牧師の収入の一部で無い事を税務署に明確に示す事が大切である

牧師給与を判断された場合、源泉領収が必要になり、修正課税する事になる恐れあり

税務署は源泉徴収をメインに監査が入っているので、注意してもらいたい

教団内で会計ソフトを統一化する事があれば、従う事もあります

### 3) 今後取り組もうとしている事【上記の問題の解決策、新しい試み】

会計奉仕者の後継者作りが大切である

会計フォーマットを教団の統一様式にすればより簡単になるのでは

リスクヘッジ、危機管理を強化する(個人・教会共に)

教団から提示されている指定フォーマットを利用する事により、教会会計が統一されるのでは

### 4) 教団への要望

教団規程にある牧師給与のあり方を10・20年後を見据えて検討していくべきでは？

予算案作成時、会計担当者が一人で悩む場合など、教団側と協力してできることもあるのでは？

各教会会計をスムーズにかつ明瞭にする為には、共通のフォーマットで会計処理できる様になれば？

会計担当者(将来候補含む)のみが集い、教団が教会会計に関するセミナーを実施しては？

共通のフォーマットによる会計処理の勉強会開催など

### 5) その他(研修会の開催の内容、日程等思いを気の付くままに)

話し合う時間切れ

## 2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

- 開催場所：武庫川
- グループ：教会での結婚の取り組み
- 分科会進行役：宮尾兄(武庫川)
- 記録係：中田兄(武庫川)
- 参加者：阿部兄(武庫川), 柏木道姉(石橋), 中田兄(武庫川), 西原兄(武庫川), 宮尾兄(武庫川), 笹田神学生

### (1) メンバー紹介

- \* 西原兄(武庫川) CS担当。4, 5年以上, 教会学校, 家族で参加。
- \* 宮尾兄(武庫川) 教会学校, 中高, 大人クラス。朝8~9時には未信者向けもある。結婚は, 周りに教会が無かったので, 何か取り組みができれば良いのだが…。風花ちゃんのために。
- \* 笹田神学生 教会の役員の勉強をしている。結婚についてだが, 同じ年の男性が現実には周りにいない。理想と現実のギャップに戸惑っている。
- \* 柏木道姉(石橋) 54年前, H.フリーゼン師に導かれて石橋教会へ行くようになった。現在は, ミッションサポートチームでご奉仕をしている。かつてはCSのご奉仕もし, 結婚式を見て感動した。もし, 相手がいなければ独身も考えていた。現在, 孫6人。信仰継承を今願っている。結婚相手の候補として, 紹介することはとてもできない。
- \* 中田兄(武庫川) 若い人たちの出会いの場を設定したい。
- \* 阿部師(OBC牧師) 河内長野(65歳)→小牧(8年)→OBC(4年目)。阿部あゆむ(恵みの丘)を繋いだのも近放伝だった。

### (2) 主要テーマの選択 … 教会の運営を支える信徒

- \* 出会いは教会の取り組みが必要。牧師とのやりとり。他教団の女性を連れてくる。近放伝。
- \* 友だちとの出会いからクリスチャンになる。
- \* キャンプでは難しい場合がある。一長一短ある。キャンプスタッフとして参加している中での出会いもある。
- \* 未信者だったが, 強固な彼女に負けた感じ。子どもができたときに教会に通っていたので, 良かったと思っていた。
- \* 「強い信仰を持つ」とは言うが, 信仰を持って乗り越えることが出来るかどうか不安。教会での取り組みが必要である。
- \* 教団での婚活パーティがあると嬉しいか?  
→ 参加しないことが多い。特に女性が集まらない。
- \* 30歳ぐらいになって近放伝に登録するとき, 条件を考えてしまう。神様の導きが必要。
- \* 紹介したことがあるが, 1回で終わってしまった。紹介するのが難しい。
- \* 自然なレベルの触れ合いの場が必要なのか? 他の目的で集まれるような集いを教団で設定したらどうか? 1泊2日のスノーキャンプもそうだった。

### (3) 今後取り組もうとしていること

- \* 複数の若い人たちの食事をする場を設定する。
- \* 食事会が初めての場合もある。声かけ役が必要。
- \* 食事会に魅力を感じない人のための個人的な出会いの場が必要。家庭に呼ぶとか…。
- \* 誰かの「お祝い」というのが、クリスチャン・ノンクリスチャンの区別も無く、抵抗も無くて良い。
- \* 公的なもの、私的なものを問わず、いろいろな取り組みを考える。
  - 公的なものの中に、個人を受け入れる。(改革案)
  - 例えば、キャンプ中に小さなコミュニティを作る。
- \* 社会人キャンプを出会いの場にしたいという目標があったが、その意図を出さないようにした。

\* 高

	B	A
この世の 魅力	C	D
低		
	浅	深

信仰の深さ

- A, B, C, Dに適したサポートが必要。
- ・ 自分に自信のある人は、Aだと思っているので、BやCの方には進まない。
  - ・ スキーキャンプ、スポーツキャンプ、山登り
  - ・ 家庭, CS
  - ・ 別れても大丈夫な出会いで学ぶ。
  - ・ 公の中にも個人を入れた取り組み。

- \* いろいろなアクシデントやドラマがある。
- \* 相手のことを思って祈る。お互いの名を出して祈る。
  - いったいどのようにして信仰と祈りを伝えるか？
- \* CS、中高生、男女別で温度差がある。
- \* 「手をつなぐ」の意味か？

### (4) 教団への要望

- \* 信仰と祈りを土台とする結婚。
- \* 繋がりや積み上げがスタートできるように、おしゃれが出来たり、抵抗無く参加できる企画。
  - 「お祝いパーティ」「こじつけパーティ」「教団成人式」「超教派成人式」など良いのでは？



## 2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

- 開催場所：武庫川
- グループ：教会の運営を支える信徒
- 分科会進行役：宇田義兄(石橋)
- 記録係：桜井姉(武庫川)
- 参加者：宇田義兄(石橋), 河内姉(武庫川), 桜井姉(武庫川), 渋谷姉(武庫川), 寺谷姉(グレースセントラルチャペル), 藤川姉(武庫川)

### (1) メンバー紹介

- \* 宇田義兄(石橋) 教会運営を支えることに興味がある。意見傾聴。
- \* 寺谷姉(グレースセントラル) 教会運営を支えることに興味, 奉仕, 意見, 意見傾聴。
- \* 河内姉(武庫川)
- \* 渋谷姉(武庫川) 教会運営を支えることに興味がある。
- \* 桜井姉(武庫川) 教会運営を支えることに興味がある。今後の奉仕のあり方について, 他教会の意見傾聴。
- \* 藤川姉(武庫川) 教会運営を支えることに興味がある。今後の奉仕のあり方について, 他教会の意見傾聴

### (2) 主要テーマの選択 … 教会の運営を支える信徒

- \* 高齢化への取り組み  
駅への送迎, 長期欠席者(病気など)への訪問, 週報を届ける, 祈り。
- \* 自主活動での未信者の導き方  
自主活動から自主活動へお誘いや参加を通して, 交わりを深めてから, 集会, 礼拝へのお誘い。
- \* 各年代層への関わり方  
人数が多いとどうしても各年代に分かれる。これは仕方のない(受け入れる)ことで, 各人がそれぞれの立場を通して交わっていくことでは…。
- \* 教会の常駐者の恩恵は大きい。

### (3) 今後取り組もうとしていること

→ (2)に準じる。

### (4) 教団への要望

- \* ファミリーキャンプの今後の予定は？

## 2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

- 開催場所：武庫川
- グループ：教会の運営を支える信徒②
- 分科会進行役：？
- 記録係：？
- 参加者：？

(1) メンバー紹介 … 簡単に自己紹介をした。

(2) 主要テーマの選択教会の運営を支える信徒

i. 支え疲れしないために

- \* 複数の信徒でヴィジョンの一致。
- \* 自分がしなければ…と思わないこと。(※ アリの2:8の法則)
- \* 義務感からの兄弟への裁きや批判的なことをやめる。

ii. 何があれば支えになるか？

- \* 支えるには数(牧師を愛する人の)が必要。
- \* 思うより実行すること。
- \* 牧師による家庭訪問。
- \* 交わりから離れている信徒に対するフォローアップ。

iii. 何が出来るか？

- \* 自分の賜物は何か？
- \* 何でも牧師に任せるのはダメ。予めしもべ会で議案を作成して一緒に考える。
- \* 支え続けるための継続性として、
  - ① 礼拝を欠席しないこと。
  - ② 献金を献げること。

(3) 今後取り組もうとしていること

- \* 喜び溢れた信仰生活。
- \* 支え合う。
- \* 魂の救い。
- \* 解決されるのはイエス様。
- \* 今日、ここに来られたことに感謝。

(4) 教団への要望

特になし。

## 2016年度 MB教団 役員・リーダー等成長研修会 分科会記録

- 開催場所：武庫川
- グループ：家庭(教会)における夫婦の役割
- 分科会進行役：佐野忠兄(恵みの丘)
- 記録係：脇坂英兄(石橋)
- 参加者：有田忍兄(石橋), 佐野忠兄(恵みの丘), 堀端兄(武庫川), 吉田恭姉(尼崎), 脇坂英兄(石橋)

(1) メンバー紹介 … 各自、簡単に自己紹介をした。

### (2) 主要テーマの選択 … 家庭

- \* 自営業のため、24時間いつも一緒。
- \* 自営業だが、食事やお風呂などの連絡がメール。しかし、メールは大事な話には使わない。
- \* 「家の教会」を始め、家庭だけでなく、教会のご奉仕も夫婦で役割分担している。  
→ 伝道目的の「家の教会」はいい。
- \* 夫婦共働きなので、外食が増えるが、それが良い交わりや良い息抜きになる。旅行やペットなど息抜きも大切。
- \* 子どもも一緒に出られる礼拝。
- \* 「ゲスト→ホスト」へ、家庭での役割分担も大切だと思う。  
→ 役割分担、息抜き、多様性をバランスよく受け入れる。

### (3) 今後取り組もうとしていること

- \* 「家の教会」  
食材等を持ち込み(ポトラック形式)で、新しい方や求道中の方々も含めた食事と交わりの会。礼拝の分かち合いも行う。
- \* 「オープンチャーチ」  
日曜日の午後に、近隣の方々に案内を配布して教会の活動を紹介する。「伝道会」や「教育講演会」より、重くなくて良い。
- \* 「各種教室」「自主活動」「セルグループ」  
教会行事に出演したり、牧師や教会員のサポートが必要。しかし、未信者の方々が求めるものの1つでもあり、魅力的。武庫川教会のように、牧師以外のスタッフが月曜日以外常駐していることは大きい。
- \* 「Web委員会」  
負担が大きいので、継続するには人が必要。

### (4) 教団への要望

- \* 実際は、他のテーマを第1希望にしたメンバーが大部分だったが、第2希望のテーマに回されたため、消化不良気味だった。無理して5テーマに分けなくても良かったのではないかな？

2016 年 6 月 25 日

### ① 献金てなんだろう

参加者：田畑歩兄（いずみ）・戸川ひとみ姉(河内長野)・杉山卓兄（寝屋川）  
折口光兄（堺中央）・石賀満師(河内長野)

- ・ 献金の前に感謝の聖句
- ・ 教会運営の赤字
- ・ 人の目を気にする
- ・ 献金について学ぶ

**みことばによって養われることが重要**

## ② 会計担当者の集い

参加者：高見俊雄兄（河内長野）・浅川真一兄（寝屋川）・原田充兄（星田）

近藤恵美子姉（大和）・本村勲兄（枚方）・福本和宏兄(堺中央)

菊地巧兄(総持寺)

・悩みごとの共有：会計ソフト等

・科目の統一について話し合い

### ① 会計科目の内容について

・会計担当者により、理解が異なる事が良く分かった。

### ② 菊地兄からの提案の科目理解を共有

・ 広宣費をなくす

・ 講師謝礼は集会目的に応じて分類

・ 消耗品は教団報告時には備品営繕費に

・ 振り込み手数料は電通費に

・ コインパーキング駐車料は交通費に

### ③教会での結婚への取り組み

参加者：田中尚子姉（泉北）・多比良恵美子姉（総持寺）・岩倉勇子姉（総持寺）

藤田孝司兄（枚方）・芳村節子姉（大和）・板倉由貴男兄（泉北）

- 婚活は必要である
- MB間で助け合う：情報交換は大事！！
- 他教団との交流
- 各教会にシステム作り：アドバイザーが必要

### 折りつづける

#### ④-1 教会運営を支える信徒になる

参加者：高見薫姉（河内長野）・杉佐知子姉（堺中央）・東山富昭兄（泉北）

鋤田速明兄（星田）・今井三鈴姉（寝屋川）・神吉好美姉（千里）

- ・教会に関心を持つ
- ・協会員同志で良い交わりを持つ
  - ⇒お互いを良く知るために
  - ⇒賜物をし、賜物を活かす場所を提供する
- ・健全な教会生活
  - ⇒教会のリーダーはイエス・キリスト
  - ⇒役員(リーダー)と教会員の思いの一致
- ・各役員の姿勢
  - ⇒「ゲストからホストへ」
  - ⇒自らがしもべとなって教会・兄弟姉妹に仕える

## ④-2 教会運営を支える信徒になる

参加者： 淵上博（星田）・坂本高英兄（総持寺）・谷塚廣志兄（堺中央）

松野晃三兄（堺中央）

- ① 牧師一人に重荷を負わせない
- ② 牧師批判をしない
- ③ 出来るだけ多くの信徒が奉仕できるように
- ④ 牧師と信徒のビジョンの一致
- ⑤ 情報を共有して祈り合う
- ⑥ 違いに目を止めないで、同じ所を見る
- ⑦ 若い世代をサポートして働きに参加してもらう
- ⑧ 親から子へ ➡ 信仰の継承
- ⑨ その他



## ⑤家庭での夫婦の役割

円満なクリスチャンホームの為に

参加者：山村登起男兄（総持寺）・西澤文子姉（河内長野）・森田和子姉（堺中央）

真鍋恵子姉（河内長野）・石井智子姉（堺中央）・河野千代み姉（堺中央）

藤野純一師（枚方）

エペソ：3-19

「人知をはるかに超えたキリストの愛を知りことができますように。こうして、  
神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたが満たされますように」



こうあるべきだと思っていた事が神のみこころではなかった。

参考までに・・・・・・・・近放伝 結婚情報（水野健師）

## ⑥牧師グループ

参加者：徳本篤師(千里)・畑直樹師(寝屋川)・菰田義光師(泉北)・杉貴生師(堺中央)

田中芳文師(星田)・岩村嘉紀師(大和)・田畑雅紀師(いずみ)

北嶋和之師(総持寺)

- ① キッズ伝道の情報交換
- ② 役員会の誰がつくる?・・・議長OR牧師
- ③ 決定機関と実労グループとのコミュニケーションについて
  - ・ 役員と役割、責任の明確化
  - ・ 実労グループを支配したがる人の取り扱いについて注意!
- ④ クリスマンホームの子供たちが成長と共に教会につながらない
- ⑤ 地域伝道 ➡ 家の教会 ➡ 自分の家に招く
- ⑥ 忙し過ぎるクリスマン生活と教会成長とのバランスの取り方
- ⑦ 救われたクリスマンに伝道する

神・罪・救いのレベルから変化しようとしな

(福音の本来の意味=変えられてゆく力)

以上

## 「献金て何だろう」

日時：2016年6月25日（土）12：30～14：30

場所：広島北教会 1階多目的室 奥

メンバー：神田政廣兄（周南） 加納恵子姉（広島北） 山本紀子姉（広島北）  
大瀨 尚兄（広島西） 土方章裕（MST） （計5名）

### ◇献金に関する聖書のみことば

マラキ書 3：7～10 神様は天の窓を開いて、祝福を与えることの出来るお方

ルカ 21：1～4 金銭に対する神様の価値観と、人間の価値観は違う

---

私達はどの様な思いで、献金をしているのか。ただ義務感で献金していないか。

神様は人の心をじっと見ておられるお方

『人はうわべを見るが、主は心を見る。』（Iサムエル16：7b）

神様に隠したり誤魔化したりは絶対の出来ないことを覚えて、神様に全て打ち明け、自分の弱さや醜さも曝け出して、神様のお取り扱いを頂くことが第一歩である。

自分の出来ることを、きっちりすることが大切

宝のある所に、その人の心もある。

献金は、信仰のレベルを示すバロメーターでもある。

今後は、みことばを実践することを、信仰生活の基本としたい。

『受けるよりも与えるほうが幸いである。』（使徒の働き20：35）  
与えることによる恵みや喜びを、しっかり受け止めて行きたい。

## 中国地区 分科会

### ■教会運営を支える信徒になる

#### 分科会 A

メンバー：〔広島北〕岩本姉、白石姉、濱崎姉、齊藤姉、飯塚姉、〔周南〕神田姉

#### ・結論

教会は変化してきている

トップダウンはできにくくなってきている

教会は牧師、運営は信徒がしなくてはならない

高齢化している中で、運営は難しく できることが狭くなっている

ゲストからホストへ 一人一人ができることを意識していく必要がある

#### ・意見

変化していく時にカルチャーショックが大きい

未だに受け入れがたい

牧師がクレマーの相談相手になってほしい

いろんな所を通され、訓練され、今になってそのことが必要だと思える

今は恵まれていると思う

信仰が幼いことがあるともめ事がある

高齢化の中で今の時代について行くには限られた人に負担がかかる

例えば 会計、教団からのメール、週報作成、掃除

教会は動いていると思う。これから先そう導かれるかわからないが、しなやかに対応（従う）ことが大切だと思う

信仰をなくすような教会の支え方はどうかと思う

## 分科会 B

メンバー：〔広島北〕 飯塚兄、金尾姉、伊本姉、久保姉、丸太姉、樋上姉、  
〔周南〕 石光兄、〔尼崎〕 吉田兄

### ・奉仕（仕える）形

尼崎教会牧師が不在となり信徒一人一人が自主的に奉仕を分担するようになった  
広島北教会・周南も同様に信徒が奉仕を分担した

### ・運営を支える難しさ

高年齢、少人数、生活の違い、世代、信仰継承

高齢で身体的に礼拝に来ることができない

10年後のことを考えると心配

牧師の立場（働き方）

### ・信徒になる（ゲストからホストへ）

兄弟、家族で喜びを共有する

交わることの大切さ

広島西のお話し、訓練も大切

3教会の働きが一人ひとり考えるステップになり自主的な活動につながった

### ・これから（ホストとして全般）

若い人、家族、知人へどのようにアプローチするか考える

祈ること 主に期待することが大切

教会毎に独自性をもって仕える 喜ぶ共同体として自分に何ができるか

外部に発信することが大切ではないか

活動を広げる（他教会、地域に）

今日の話し合いでこれから大いに期待する

### ・教団への要望

教団と教会の交わりを深めたい

以上

# 2016 年度東海地区 役員・リーダー等成長研修会

## 分科会記録(2-1)

2016 年 6 月 26 日

### グループB「教会役員の資質/霊性、役割って何？」

参加者5名：(桑名1名)・(小牧1名)・(豊田東2名)・(藤が丘1名)

#### (1) 資質

- ・人に対して中立
- ・牧師に対しても、ものが言える。

#### (2) 霊性

- ・神様と1対1の関係、いかにすべてのことを神様に話して告白できるか。そこに恵みの秘訣がある。
- ・信仰が独善的でなく、謙遜であること
- ・聖書に書いているままを実行する信仰
- ・役員は、教会の実務面を担っている面もある。

#### (3) 役割

- ・役員会に出る。柔軟なやり方が必要
- ・牧師のリーダーシップを尊重しサポートする。その要請に応える。ただし、牧師が気付かない部分も分かち合う。
- ・牧師は牧会が中心、役員は信徒とのコミュニケーションを取る。
- ・教会ビジョンについては、牧師のビジョンも大事だが、役員も長期的、具体的な教会ビジョン作成に参画すべきでは。

# 2016 年度東海地区 役員・リーダー等成長研修会

## 分科会記録(2-2)

2016 年 6 月 26 日

### グループC 「教会役員の資質/霊性、役割って何？」

参加者4名：(桑名2名)・(藤が丘1名)・(和合1名)

新しいチャレンジ(役員の役割)

#### (1) 信徒とのコミュニケーション

- ・役員は指示しがちだが、他の信徒の話を傾聴することが重要
- ・相手に対する関心・敬意を持って話しかける。家庭を解放
- ・礼拝での事務的な挨拶で終わらず、神の家族としてのコミュニケーションをめざし、役員はそのリーダー役を！

#### (2) 牧師との連携

- ・役員は、牧師と信徒間の橋渡しを行う。
- ・教会の規模によって役員の働きも違う。教会規模に応じて、交わりのできる体制の再構築を、牧師と共に役員も担う。  
教会規模によって、家族的な1つの交わり⇒スモールグループによる再構築

#### (3) 伝道イベント

- ・有名人を呼んだイベントは、その時人が集まってもすぐに礼拝に繋がらない。種まきと地道な活動の両方がいる。長い目で祈る姿勢

## 2106年度役員リーダー等研修会写真



田中芳文牧師メッセージ  
大阪南部地区分科会風景



大阪南部地区集合



## 中国地区集合写真



## 東海地区眞鍋牧師メッセージ&分科会





役員・リーダー等成長研修会報告

■大阪南部地区

MST(ミッシヨンサポーターチーム主催・協賛常任責任役員会)の役員・リーダー等成長研修会が6月25日(土)大阪北部地区・大阪南部地区・中国地区と合同で開催されました。東海地区は役員都合により6月26日(日)午後開催。

参加教会は10教会、参加人員は44名、今回で4回目となるために教会のエリアの変更を行い、千里・枚方・総持寺・星田・寝屋川の5教会と通常の堺中央・河内長野・いずみ・泉北・大和が参加されました。開会メッセージは常任責任役員会副議長の中村芳文牧師が「ゲストからホストへ」マタイ20:26、28です。今回教団初の試みとしてパソコンを通じて大阪北部地区と同時に田中牧師のメッセージを聞く事が出来る方法として「フェイスタイム」、アップルの無料ソフトでラインを通じて田中牧師の御言葉と姿を見ながら聞く事が出来ました。概ね良好に大阪北部地区は開けて見えたとの感想です。



③教会での結婚への取り組み④

教会運営を支える信徒になる⑤家庭での夫婦の役割⑥牧師グループと別れて話し合いを持ち、活発な議論と笑いが起こる中模造紙にその話し合いのまとめを書いて、各グループ別に教えられた事について発表を行い内容を共に分かち合いました。

今回はテーマを決めて話し合いをする事での絞りを内容の濃い話し合いが出来た事、会計担当の方は勘定科目を何にすべきか一人で悩んでいたが、共に話し合いが出来て理解も出来たとコメントも頂きました。私たちは神の家族、神の共同体です。共に学び合おうではありませんか。(河野和雄)

■中国地区

中国地区では広島北教会にて、三教会からとMSTからと竹田満師とで計二二名が参加して行いました。

田中師のメッセージが届かず、急遽、竹田師がレジメに従って代読するハプニングがありました。少子高齢化と教会員の減少に悩む中国地区にとつて、「ゲストからホストへ」という内容は、信徒が教会の運営についてどのように意識するかを考え、今後の信仰生活の姿勢を示す重要なカギになると再認識致しました。

三グループに分かれての分科会も、普段は話せない問題意識や悩み等の話が出てきた結果、お互いの理解が一層深まったことが感謝でした。

広島西教会や周南教会の少ない教会員でも、各人が忠実にこ奉仕され、真剣に神様に向き合って信仰生活を送っておられる姿勢にも励まされ、



神様の愛と恵みを改めて覚える良い機会にもなりました。三教会二牧師体制に、教団から様々な形で支援を受けていることを、また今研修会の開催を、皆様とても感謝しておられました。(土方章裕)



役員・リーダー等成長研修会報告

■東海地区

東海地区の役員研修会は、6月26日(日)午後、豊田東教会で開催されました。東海地区の研修会は例年6月に持たれています。5教会(桑名、小牧、豊田東、藤が丘、和合)から今回は、牧師を含め26名が参加されました。プログラムは、ギター片手に鹿島師の賛美リードから始まり、



れたとの報告がありました。研修会は、豊田東教会のゲストハウス「恵みの家」も利用して、和気あいあいの内に持たれ、今後の教会間のコミュニケーションも期待できそうです。(酒井昭男)

①特別講演「聖書的牧師像、役員像の一考察」(眞鍋孝師)

では、マタイ16章等より、教会形成はキリストご自身のわざである。頭なるキリストに忠実に従い、生活の全領域で主を証する役員像が強調されました。

②お証し「役員を経験して」

大谷兄(常責)では、役員に求められていることとして、牧師が十分礼拝メッセージの備えができるよう、信徒でできることは信徒が奉仕する原則に努める。新しい試みを積極的に受け入れる姿勢。

③グループ討議は、「役員」

の資質、霊性、役割」というテーマで話し合われ、その報告では、(資質)・信徒の話しに傾聴する。牧師のリーダーシップを尊重しつつ、牧師に対して発言できる。(役割)・風通しのよい教会のコミュニケーションのため、役員は、牧師と信徒間の橋渡し役を果たす。

また、会計担当グループでは、献金アピールの苦勞が語られ、牧師グループでは、「昇儀」「海外宣教師」をテーマに語ら

■大阪北部地区

6月25日(土)武庫川教会にて研修会を実施致しました。七教会(尼崎・石橋・大阪センラルグレース・大阪バイブルチャーチ・恵みの丘・平野・武庫川)から牧師含む約50名の参加がありました。

午前部では想定外のハプニング続きではありましたが、参加して下さった兄弟姉妹、皆様の愛により、何とか予定通りプログラムが進行できて感謝しております。

昼食は全員一緒に同じ場所で武庫川の兄弟姉妹が準備して下さったオリジナル弁当(ワラビ餅(箸入れまでオリジナル)を堪能しつつ、楽しい交わりの時を過ごす事ができました。

その後の分科会では6グループに分かれ、それぞれ活発な意見交換がおこなわれました。特に「教会での結婚の取り組み」をテーマにしたグループ発表では、教団に対して具体的な活動提案があり、若者のパワーを感じました。

また、それぞれの教会で様々な働きをして下さっている役員同士が考えや思いをから合え、さまざまな課題情報が交換され、今後の祈りの課題を共有できた事に感じました。今回参加できなかった教員(役員)の皆様も、このうな素晴らしい分かち合いの場に是非参加して頂けるようお願い致します。(栗栖)

